

部 局	(危機管理課)	補 職	危機管理監	氏 名	森 純一
-----	---------	-----	-------	-----	------

1. 部局の使命

“自助・共助・公助”が築く安全・安心のまち とよなか
 「自らの命は自らが守る『自助』、自分たちのまちは自分たちで守る『共助』、行政による『公助』」の相互連携のもと、いざという時、市民、事業者、行政が、それぞれの役割を果たし、豊中市全体として危機事態への迅速かつ的確な対応が図られるよう取り組み、安全・安心なまちづくりを推進する。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取組みの総括 方針取組みの総括

方針	取組みの総括
<p>(1) 災害対応力の強化 大規模災害などの危機事態に対して、すべての組織の力が発揮できるよう対策を充実させます。特に職員一人ひとりが、災害時の役割を認識し、日ごろから準備や訓練を通して危機事態に対処できるよう災害対応力を強化します。 また、近年、災害が頻発していることや感染症対策を踏まえ、災害対応の在り方や避難所開設手法等の検討を行うとともに、デジタル・ガバメント戦略に基づき、デジタル技術の活用を図り、災害対応力を強化します。</p> <p>(2) 地域の防災力の向上 さまざまな場・機会や媒体を通して、市民一人ひとりの防災意識の向上に取り組みます。また、災害時に小学校は重要な防災拠点となりますが、地域のつながり作りや防災力の向上をめざして、小学校区単位で取組まれる地域ぐるみの自主防災活動への支援を充実します。 避難行動要支援者の安否確認や避難支援に備えるため、地域における避難支援体制の構築をめざします。</p> <p>(3) 地域の防犯力の向上 地域の安心・安全のため『暮らし安心・安全見守りカメラ』の維持・管理を行うとともに、防犯力向上のため、地域における防犯活動の支援を行います。</p>	<p>○豊中市地域防災計画を改定し、法令改正や上位計画等の内容を反映するとともに、新型コロナウイルス感染症への対応等を踏まえた防災対策を強化しました。</p> <p>○地震及び台風等に伴う災害はありませんでしたが、気象警報の発表に伴い、風水害警戒体制を7回設置して対応に当たりました。また、出水期に先立ち市内の土砂災害警戒区域等を巡視し、異常の有無の確認を行いました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策に対しては、国及び大阪府の決定事項を踏まえ、遅滞なく豊中市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、情報の共有と対応方針の決定を行いました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設訓練を行うとともに、動画を作成し、庁内外へ周知しました。</p> <p>○デジタル技術の活用では、デジタルハザードマップとして、WEBサイト「地図情報とよなか」に「浸水想定区域図」や「土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域」等の情報を追加しました。</p> <p>○洪水、内水、津波、高潮、土砂災害等の風水害時の浸水想定区域や浸水深、風水害への事前の備えや大雨時のとるべき行動、避難施設等を記載した総合ハザードマップを作成し、全戸配布しました。</p> <p>○災害時の対応強化を図るため、民間事業者と応援協定等（6件）を締結しました。</p> <p>○自主防災活動の支援については、出前講座のリモート開催や防災市民講座の動画配信など、感染症対策を取りつつ実施しました。</p> <p>○避難行動要支援者対策については、避難支援等関係者へ名簿を提供するとともに、福祉部と連携し、感染対策を徹底しつつ、避難支援等関係者が実施する訓練への支援を行いました。また、アーバンイノベーション豊中を活用し、LINEを活用した安否確認の実証実験を行いました。</p> <p>○犯罪の早期解決のため、見守りカメラ等の画像を迅速に捜査機関へ提供しました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>新型コロナウイルス感染症に係る対策の推進</p> <p>○情報収集と庁内連携体制の確立 *新型コロナウイルス感染症対策本部の運営【随時】 *緊急事態措置等に係る大阪府との連携・調整【随時】 ※本対策業務を優先し、通常業務のうち、感染症防止対策が万全に確保できない講座や訓練等の事業については状況により、オンライン等での実施や休止・延期を検討します。</p>		<p>○政府及び大阪府の決定事項を踏まえ、豊中市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、情報の共有と対応方針の決定を行うとともに、必要となる業務の調整等を行いました。</p> <p>○庁内の協力体制のもと、広報周知活動を行いました。</p>	<p>○引き続き、国・府の動向を踏まえ、市対策本部会議を開催し、情報の共有や対応方針の決定を行います。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策にかかる取組みの検証を行います。</p>
	<p>総合計画</p> <p>0-0-0</p>			
<p>基本政策</p> <p>0</p>				

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>災害時における対応力強化</p> <p>○近年頻発する災害に的確に対応するため、災害対応力の強化に努めます。</p> <p>＊備蓄物資の整備拡充【上半期】</p> <p>＊防災公園にマンホールトイレで使用するトイレテナントや救助用資機材、発電機等を配備【8月】</p> <p>＊地域防災計画の改定【3月】</p> <p>○訓練や職員研修等を通じて職員の災害対応力を強化します。</p> <p>＊災害対応に係る新規採用職員研修【4月】</p> <p>＊避難勧告等の判断・伝達マニュアルの点検・更新【6月】</p> <p>＊業務ごとの災害時マニュアルや業務継続計画の点検・更新【6月】</p> <p>＊豊能地区3市2町合同防災訓練の実施【11月予定】</p> <p>＊避難所開設訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対応の避難所設営の動画作成【7月】 ・避難所用タブレット端末の活用【1月末】 <p>○災害リスクを踏まえた避難のあり方について、市民周知を行います。</p> <p>＊デジタル版ハザードマップの作成・公開【9月】</p> <p>＊総合的ハザードマップ作成・全戸配布【11月】</p> <p>＊洪水・高潮避難ビルの指定【随時】</p> <p>○関係部局とともに、豊中市強靱化地域計画の進行管理を行います。【通年】</p>	<p>○備蓄物資は、整備目標数量に基づき、計画的に整備を行いました。</p> <p>○防災公園の各種資機材を整備し、近隣自主防災組織に防災機能の紹介を行いました。また、防災公園の機能を説明する動画を作成し公開しました。</p> <p>○地域防災計画は、防災機関への意見照会や意見公募手続き等を経て改定を行いました。</p> <p>○職員の災害対応力の向上として、課長級対象研修(コロナ禍のため動画配信で実施)及び新規採用職員に対して研修を実施しました。</p> <p>○避難情報の判断・伝達マニュアルを更新しました。</p> <p>○豊能地区3市2町合同防災訓練は、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所設営訓練を行いました。</p> <p>○感染症対応の避難所設営の動画を作成し、庁内外へ周知しました。また、避難所開設職員による避難所開設訓練を実施しました。</p> <p>○風水害時のリスクなどを広く周知するため、総合ハザードマップを全戸配布しました。また、デジタル技術の活用として、デジタルハザードマップを公開しました。</p> <p>○洪水・高潮避難ビルとして新たに1施設を追加しました。</p>	<p>○備蓄物資については、引き続き計画的に整備を進めます。</p> <p>○地域防災計画の改正に伴い、業務継続計画及び災害対応マニュアルの更新を行います。</p> <p>○総合ハザードマップの点訳版・音訳版を作成・配布し、視覚障害のある人への周知を図ります。</p> <p>○総合ハザードマップ等を用いて、災害リスクの周知を図ります。</p> <p>○洪水・高潮避難ビルを拡充します。</p> <p>○デジタル技術を活用して災害対応力を強化します。</p>
総合計画			
	2-4-① 防災力の充実強化を図ります。		
基本政策			
	28 防災公園・公開空地の拡充		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>地域における防災活動の支援と市民一人ひとりの防災意識の向上</p> <p>○小学校区単位での自主防災組織の結成を促進するとともに、既に活動が行われている校区への支援を継続します。 * 校区自主防災組織の未結成校区への結成支援【通年】 * 校区自主防災組織活動助成金の支給【通年】 * 校区自主防災組織連絡会議の開催【8月・3月】</p> <p>○地域の実情や立地特性に応じた自主防災活動の充実・強化を図るために、とよなか防災アドバイザーを地域に派遣します。 * とよなか防災アドバイザー派遣制度の運用促進【通年】 * 南部地域を中心とした浸水地域でのハザードマップの周知及び地域の防災マップやコミュニティタイムラインの作成支援【通年】</p> <p>○適切な避難行動等が行われるように、災害時における情報の入手方法や市の対応など事前に具体的な情報の発信を行います。 * 広報紙での啓発特集記事の掲載【6月】 * 自主防災組織、自治会等を対象とした出前講座の実施【随時】 * 防災市民講座・防災パネル展の開催 【2月:防災市民講座】 【8・1月:防災パネル展】 * 動画配信による市民啓発【通年】</p> <p>○次世代の防災リーダーを育成するため、学生を対象とした防災講座等を実施します。 * 高校生を対象とした、防災講座の企画実施による防災意識の育成【9月】 * 小学校6年生全員を対象にした防災啓発(備蓄物資(アルファ化米)の配布)の実施【2月】</p>	<p>○新たに西丘小学校区で自主防災組織が結成され校区自主防災組織は30団体となりました。</p> <p>○地区防災圏自主防災活動の支援として、13団体(継続支援)に補助金を交付しました。</p> <p>○出前講座については、コロナ禍での実施手法を検討・工夫し、一部リモート開催を行いました。また、とよなか防災アドバイザーを活用し、市民の自主的な防災活動の支援を行いました。</p> <p>○広報とよなか6月号では、出水期を前に風水害に備える特集を組むとともに、ホームページによる啓発を行いました。</p> <p>○防災市民講座は、総合ハザードマップについて解説した防災啓発動画を作成し、豊中市ユーチューブ「とよなかチャンネル」で配信しました。</p> <p>○学生対象防災講座では、防災公園の紹介動画を作成し、市内全公立小学校(低学年を対象)に授業等での活用を促しました。</p>	<p>○洪水や高潮での浸水が想定される南部地域を重点に、浸水リスクの周知を行います。</p> <p>○災害時において、市民一人ひとりが適切な行動をとれるよう、具体的、実践的な情報を発信し、洪水のような進行型災害が発生した際に、「いつ」「何をするのか」を整理した個人の防災計画となるマイ・タイムラインの普及啓発を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-4-① 防災力の充実強化を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>30 地域防災力向上への支援（自主防災組織への支援拡充、避難行動要支援者避難支援プランの推進）</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>避難行動要支援者の避難支援体制の構築</p> <p>○民生・児童委員、校区福祉委員会だけでなく、地域自治組織や自主防災組織など、様々な地域団体が協力・連携して避難行動要支援者の避難支援が行えるよう、地域の体制を強化します。</p> <p>*避難行動要支援者名簿システムの運用【通年】</p> <p>*各校区での避難行動要支援者名簿を活用した図上・実働訓練の指導【6・12月:名簿提供】【訓練はコロナ禍を踏まえて臨機応変に対応】</p> <p>*庁内関係部局で連携した取組を進めるため、要配慮者支援対策会議を開催【随時】</p> <p>*災害対策基本法の改正を踏まえ、避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)を見直し、個別避難計画の作成に向けた取組を進めます。【通年】</p>	<p>○避難行動要支援者対策としては、名簿の更新を行い、避難支援等関係者に対し、年2回提供しました。また、福祉部と連携し、感染対策を徹底しつつ、地域が実施する訓練の支援を行いました。</p> <p>○庁内関係部局で構成する要配慮者支援対策会議及び個別避難計画や福祉避難所に関する部会を実施し課題を整理し、取組みの方向性を確認しました。</p> <p>○とよなかデジタル・ガバメント戦略における「IoT、クラウドを活用した災害時の要援護者支援(安否確認等)」への対応として、地域課題解決支援事業を活用し、実証事業を行いました。</p>	<p>○引き続き、様々な地域団体が協力して避難行動要支援者の避難支援が行えるよう、支援体制の構築を図ります。</p> <p>○福祉部と連携し、個別避難計画の作成を進めます。</p> <p>○災害時の要援護者支援にかかるデジタル技術の活用について、引き続き、情報収集及び検討を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-4-① 防災力の充実強化を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>30 地域防災力向上への支援（自主防災組織への支援拡充、避難行動要支援者避難支援プランの推進）</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	<p>地域における自主的な防犯活動の支援</p> <p>○通学路を中心に市内の各所に設置している暮らし安心・安全見守りカメラ等の管理・運用を行います。 *駅前防犯カメラ及び暮らし安心・安全見守りカメラの管理・運用【通年】 *犯罪等の未然防止及び早期解決に繋ぐための捜査機関への画像データ提供対応【随時】</p> <p>○地域で行われている自発的な防犯活動を支援します。 *豊中市安全なまちづくり推進協議会の開催【6月】 *青色回転灯防犯パトロール活動団体並びに豊中防犯協議会及び豊中南防犯協議会に対する防犯活動支援助成金の交付【通年】</p>	<p>○犯罪の早期解決のため、796件の見守りカメラ等の画像データを捜査機関に提供しました。また、画像データの提供にあたっては、申請内容を厳格に審査し、適正な運用を行いました。</p> <p>○自治会に対する防犯カメラ設置補助を行いました。(累計実績：32自治会・129台設置)</p> <p>○豊中・豊中南警察署と調整を図り豊中市安全なまちづくり推進協議会を開催しました(感染予防のため書面による開催)。</p> <p>○青色回転灯防犯パトロール活動団体並びに豊中防犯協議会及び豊中南防犯協議会に対し、自発的な防犯活動を支援するため、助成金を交付しました。</p>	<p>○引き続き見守りカメラ等の運用を行い、市域の安全・安心を推進します。</p> <p>○豊中・豊中南防犯協議会、両警察署と連携し、地域で行われている自発的な防犯活動を支援します。</p> <p>○令和5年度(2023年度)以降に予定する見守りカメラ及び駅前カメラの更新に向け、この間の取組みの検証を行います。</p>
総合計画			
	2-4-② 犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります。		
基本政策			
	0		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>災害対応力の強化</p> <p>○適宜、地域防災計画や各種マニュアルを改正するとともに、災害対応の研修・訓練などを実施することにより、職員の災害対応能力を強化します。</p> <p>○近年、災害が頻発していることや感染症対策を踏まえ、災害対応の在り方や、避難所開設手法等について検討します。</p> <p>○浸水害が想定される南部地域において、浸水想定深を市民に周知するとともに、避難に時間的な余裕がない場合における緊急避難場所として、洪水・高潮避難ビルの指定を進めます。</p> <p>○新たな備蓄計画に基づき、備蓄物資の増量を計画的に実施するとともに、備蓄スペースの確保を進めます。また、必要な資材の確保を図るため、企業等との協定の締結を促進します。</p>	<p>○備蓄物資の増量 令和2年度(2020年度)～令和6年度(2024年度)</p> <p>○その他 継続して実施</p>
	総合計画	
	2-4-① 防災力の充実強化を図ります。	
	基本政策	
	28 防災公園・公開空地の拡充	
2	<p>地域の防災力の向上</p> <p>○市民一人ひとりの防災意識の向上を図るとともに、小学校区単位の自主防災組織が全校区で結成されることをめざします。</p> <p>○防災アドバイザーを地域に派遣し、災害種別や地域の立地特性に応じた防災支援を行い、自主防災組織等地域の防災力を強化します。</p> <p>○避難行動要支援者の避難支援においては、地域における避難支援体制の強化を図り、災害弱者のための共助の取組みを推進します。</p>	<p>○地区防災圏自主防災活動組織の新規促進及び継続支援 継続して実施</p> <p>○防災アドバイザーの派遣による自主防災組織等への防災啓発 継続して実施</p> <p>○福祉部と連携した防災・福祉さあえあいづくり推進事業 避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)の見直し 【令和3年度(2021年度)】 名簿提供と訓練支援【通年】</p>
	総合計画	
	2-4-① 防災力の充実強化を図ります。	
	基本政策	
	30 地域防災力向上への支援(自主防災組織への支援拡充、避難行動要支援者避難支援プランの推進)	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>地域の防犯力の向上</p> <p>○通学路を中心とする市内各所に設置している暮らし安心・安全見守りカメラなどを適切に管理・運用するとともに、地域における自主的な防犯活動を支援することにより犯罪のない安心して暮らせるまちづくりを推進します。</p>	<p>○見守りカメラ、駅前カメラの維持管理 継続して実施</p> <p>○防犯協議会の活動支援 継続して実施</p>
	総合計画	
	2-4-②	犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります。
基本政策		
0		